

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（フォレストヒルズガーデン地区）		
所在地	三原市本郷町上北方 1361		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	多目的ホール棟(会議室等)、セミナーハウス、コテージ、テニスコート等		
指定管理者	5期目	R6. 4. 1～R7. 3. 31	広島国際空港・広島エアポートホテル共同企業体
	4期目	H31. 4. 1～R6. 3. 31	広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体 ⇒広島国際空港・広島エアポートホテル共同企業体 (令和3年4月1日～)
	3期目	H26. 4. 1～H31. 3. 31	広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体
	2期目	H21. 4. 1～H26. 3. 31	広島エアポートビルディング開発・広島エアポートホテル共同企業体 ⇒広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体 (平成22年9月1日～)
	1期目	H18. 4. 1～H21. 3. 31	広島エアポートビルディング開発・広島エアポートホテル共同企業体

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R6	27,000人	23,436人	△101人	△3,564人(86.8%)
	4期平均 R1～R5		36,880人	23,537人	△13,142人	△13,343人(63.8%)
	3期平均 H26～H30		36,200人	36,679人	△34人	479人(101.3%)
	2期平均 H21～H25		39,300人	36,713人	△9,343人	△2,587人(93.4%)
	1期平均 H18～H20		—	46,056人	△2,668人	—
	(導入前)		—	48,724人	—	—
増減理由	令和6年度の運営を受託することが決定した時期が令和6年3月となったことから、令和6年4月～5月に行われる婚礼や宴会の予約を受け付けていなかった。これにより令和6年度上半期における利用者数が減少した。宣伝強化やイベントの実施により下半期の施設利用は増加したが、目標は達成できなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】
	旅行サイトの口コミ評価、アンケート		コテージ利用者 32件
	【主な意見】		【その対応状況】
	ペットサークルに清掃不備		清掃をこまめにかつ丁寧に行った。

4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報（必要随時）	－	
管理運営会議（随時）		【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策 【指定管理者の意見】 利用者増に向け、利便性の向上や安全で快適に利用できるよう施設の適切な修繕を行う必要がある。 【県の対応】 指定管理者と協議しながら計画的に修繕を実施する。	
現地調査（２月）			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	5 期	R6				5 期	R6		
県委託料 (決算額)	4 期平均 R1～R5		55,677	7,848	料金 収入 (決算額)	4 期平均 R1～R5		68,265	△22,921
	3 期平均 H26～H30		47,829	1,329		3 期平均 H26～H30		91,186	18,372
	2 期平均 H21～H25		46,500	11,398		2 期平均 H21～H25		72,814	△1,930
	1 期平均 H18～H20		35,102	△11,525		1 期平均 H18～H20		74,744	△6,167
	H17 (導入前)		46,627	—		H17 (導入前)		80,911	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目			R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委 託 事 業	収 入	県委託料	61,634	53,938	7,696	人件費高騰対策に係る委託料の増
		料金収入	60,794	78,158	△17,364	上半期における婚礼や宴会の受け入れができなかったことによる減
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	122,428	132,096	△9,668	
	支 出	人 件 費	32,975	39,033	△6,058	フロント業務の見直しによる減
		光熱水費	20,724	24,556	△3,832	電気やガスの使用量減少による減
		設備等保守点検費	1,592	1,592	0	
		清掃・警備費等	22,492	26,827	△4,335	プールの運営休止による減
		施設維持修繕費	804	1,193	△389	修繕実績が少なかったことによる減
		事務局費	3,547	2,851	696	宣伝の強化による増
		その他	48,935	52,871	△3,936	空港からの送迎車両の運行費や代理店手数料の減少による減
		計(B)	131,069	148,923	△17,854	
	収支①(A-B)		△8,641	△16,827	8,186	
自主事業 (※2)	収 入(C)	138,701	140,722	△2,021	施設利用者数減少による減	
	支 出(D)	126,251	120,431	5,820		
	収支②(C-D)		12,450	20,291	△7,841	
合計収支 (①+②)			3,809	3,464	345	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業
令和5年度報告までは、自主事業の収支は委託事業に含めていたが、令和6年度報告から分けて記載することとした。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置 目的に沿った 業務実績	顧客満足度の向上のため、婚礼備品（テーブルやサービスワゴン）のリニューアルを行った。	施設の利用者数増加や顧客満足度の向上に向けた取り組みを実施している。
	○業務の実施 による、県民 サービスの 向上	会議室を使用したイベント（うまいもんグルメフェスタ）の開催や、レストランについては感謝祭として割引を行うなど、新規利用者の獲得に努めた。	施設の新規利用者を増やすとともに、リピーターを確保する取組を行っている。
	○業務の実施 による、施設 の利用促進	新規利用者獲得のための地域住民等を対象とした特典プランを実施し、施設の利用促進を図った。	柔軟な発想でサービスを考案し提供することで新規利用者獲得に努めている。
	○施設の維持 管理	施設の老朽化に伴い要修繕箇所が多くなる中、緊急度の高い箇所については優先的に修繕した。	安全面や施設運営に支障をきたすものから優先的に対応している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の 見直し	フロント業務の一元化を行い、フロントスタッフによる兼務体制を構築した。	施設の利用状況に応じて組織体制を見直している。
	○効率的な 業務運営	隣接するエアポートホテルとフォレストヒルズガーデンの施設管理業務を一体的に行うことで、業務の効率化や経費の削減を行った。	経費削減に向けた業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	○収支の適正	宿泊・宴会・婚礼で前年比減となった。これにはプールの運営休止やフロント業務一元化に伴うショップ売り上げ減が影響していると考えられる。	事業の縮小や組織体制の変化が収支に影響を与えないように、事業運営や事業展開に工夫が必要。
総 括		令和5年度後半まで次年度の運営の見通しが立てられなかったため、上半期は新規の予約を受け付けられず、実績は非常に厳しい数字となった。下半期は婚礼の受注やイベント開催等があり、施設利用者が増加したが、目標達成には至らなかった。	上半期に新規予約を受け付けられなかったが、広告の強化やイベントの実施によって施設利用の促進に努めた結果、下半期では前年度を超える施設利用を記録した月もあり評価できる。 そうした点を次期指定管理者の運営に活かしていく必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	—	新たな指定管理者が円滑に運営できるように支援を行う。また、施設の利用者数増加のための策を指定管理者とともに講じていく。
中期的な対応	—	施設の老朽化に対し、事業者の意見を踏まえて優先度を付け、計画的に対応していく。また、施設の維持や利用促進に必要な策を講じていく。